

入院診療看護計画表（全身麻酔による人工膝関節全置換術 高度腎機能低下用）

病棟	病室	号	氏名(様)	担当医() () ()	看護師()

項目	病日	入院2日目		入院3日目	入院4日目	入院5日目	入院6日目
	入院当日	手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目
	手術前日	術前	術後				
目 標	- 落ち着いて手術前の準備ができる - 看護師の説明が理解できて 分からないことは遠慮なく質問できる	手術を受けることができる	- 患肢の安静を守ることができる - 痛みのコントロールができる - 不眠や不安がなく過ごすことができる		- 患肢に体重をかけて車椅子へ移動ができる - 積極的にリハビリをすることができる - 装具が適切に装着できる		
予 定	《外来にて》 ☐ 胸部レントゲン ☐ 心電図 ☐ 採血 ☐ 検尿 ☐ 膝・下肢レントゲン 実施の確認をします	- 採血があります - 点滴がある場合があります ※トイレは点滴の前 にすませましょう	- 酸素吸入をします (中止の指示があるまで) - 点滴があります - 服薬があります - 尿を出すための管が入っています - 血栓予防のフットポンプを足につけます	採血があります	尿の管を抜きます	採血があります	
食 事	食事・水分は指示に従ってください	食事はできません ※ 水分は指示に 従ってください	手術後、食事・水分は 指示に従ってください	食事ができます			
活 動 排 泄	制限はありません 同意書を提出してください ☐ 手術同意書 ☐ 輸血に関する同意書 ☐ 麻酔説明同意書 ☐ 深部静脈血栓症・肺塞栓症の説明同意書 ☐ 身体抑制の説明同意書		- ベッド上安静にしてください 上半身をベッドで起こすことが出来ます - 排便はベッド上になります - 患部を冷やします	- 痛みに応じて動けます - 車椅子でトイレに行けます	歩行練習をします	- 筋力の改善に応じて 膝の固定具をとります ※ 退院まで夜間は装着します - 機械で膝の運動をします	
清 潔	爪切り、除毛をします	手術着に着替えます		- 手術着を着替えます - タオルで体を拭きましょう (拭きにくいところは看護師が お手伝いします)		縫合時:タオルで体を拭きましょう (拭きにくいところは看護師がお手伝いします) ダーマボンド(皮膚接着剤)使用時: シャワーができます	
説 明 指 導	- 入院までの経過をお聞きます - 手術、麻酔についての説明があります	手術中、ご家族の方は 病室でお待ちください	- 担当医よりご家族の方へ 結果説明があります - 痛み、その他何かあればお知らせください - 医療福祉課よりご家族の方へ入院前の 生活状況と転院先の希望を確認します			栄養指導があります (術後3日目～5日目の間に)	

この計画は現時点のものです。病状によって、治療・看護の内容を変更します。
変更があれば、その都度説明させていただきます。不安なこと・心配なことがあればお申し出ください。

入院診療看護計画表（全身麻酔による人工膝関節全置換術 高度腎機能低下用）

病棟 病室 号		氏名（ 様）						
項目	病日	／（ ）～／（ ）	／（ ）	／（ ）	／（ ）	／（ ）	／（ ）～／（ ）	／（ ）
		入院7～8日目	入院9日目	入院10日目	入院11日目	入院12日目	入院13～15日目	入院16日目
		術後5～6日目	術後7日目	術後8日目	術後9日目	術後10日目	術後11～13日目	術後14日目
目 標		・ 痛みのコントロールができる						・ 退院後の注意事項が理解できる
		・ 不眠や不安がなく過ごすことができる						
			・ 退院先について考えることができる					・ 歩行が安定し、膝関節の可動域も良好であれば退院できます
予 定			・ 採血があります					・ 縫合している時は抜糸をします
		・ 服薬があります						・ 採血があります
		・ 血栓予防のフットポンプを足につけます						・ レントゲン撮影があります
食 事		・ 食事ができます						
活 動 排 泄		・ 歩行練習をします					・ 歩行状態に応じて、階段昇降や屋外歩行の練習が始まります	
		・ 患部を冷やします						
		・ 筋力の改善に応じて膝の固定具をとります ※ 退院まで夜間は装着します						
清 潔		・ 縫合時：タオルで体を拭きましょう （拭きにくいところは看護師がお手伝いします） ダーマボンド（皮膚接着剤）使用時：シャワーができます						・ シャワーができます
説 明 指 導		・ リハビリの進行状況で転院か、自宅退院か検討します					・ 栄養指導があります（希望時） （術後11日目～退院日までの間に）	・ リハビリの進行状況で転院か、自宅退院か再度検討します
								・ 退院時の指導があります

この計画は現時点のものです。病状によって、治療・看護の内容を変更します。
変更があれば、その都度説明させて頂きます。不安なこと・心配なことがあればお申し出ください。